



わだつみ



久留米市立荘島小学校

校長

縦・横、どちらの「言葉かけ」をしていますか？

先日、「縦の言葉かけ」「横の言葉かけ」というお話を聞く機会がありました。自分自身の声かけを見直すきっかけとなりました。紹介します。

お手伝いをほとんどしない子がお菓子作りに興味をもち、家族と一緒にお菓子をつくった。普段は手伝い等しないのに、この時は頑張っておいしいお菓子をつくった。ほとんどお手伝いをしない子だったので、家族は大喜びした。



皆さんがこの子の家族だったら、お菓子をがんばって作った子にどんな言葉かけをしますか。

「おいしいのができてよかったね。」

「がんばって作ったね。えらいね。」

「すごいね。またおいしいのを作ってね。」

ほめることが大切だということで、上記のように考えた人は

多いのではないのでしょうか。実際、私もそのように考えました。

ところが…

「一緒に作れて楽しかったね！」

という声のかけ方もあるのだそうです。この声のかけ方が「横の関係」（作ったことの喜びを子どもと共有している状態）です。これに対し「がんばって作ったね。」というのは、採点する人とされる人という「縦の関係」になるとのことでした。

では、どちらの方が子どもにとって嬉しいのでしょうか。

私たちは、知らず知らずのうちに「よくできました」という観点、つまり「縦の関係」だけから子どもをほめてしまっているかもしれません。「すごいね」「えらいね」だけでなく、時には「協力してくれてありがとう」「一緒にやれて楽しかったね」などという観点、つまり「横の関係」の中で、子どもと喜びを分かち合う態度や感謝の気持ちをもつことも必要なのかもしれません。

まだまだ十分とはいえませんが、私自身もこの話を聞いてから、「横の関係」での言葉かけを意識するようにしています。ご家庭でも実践していただければ幸いです。

9/21・22 ねんせいしゅうがくりょこう 6年生修学旅行（ながさきほうめん長崎方面）

9/29・30 ねんせいしゅくはくくんれん 5年生宿泊訓練（さがけんほくざんしょうねんしぜん佐賀県北山少年自然の家）



もんぶかがくしょうこくじ 文部科学省告示・つうたつ 通達には、しゅうがくりょこう 修学旅行の目的は、「へいそ 平素と異なる生活

かんきょう 環境の中にあつて見聞を広げ、けんぶん 集団生活のきまりを守り、こうしゅうどうとく 公衆道徳

について望ましい体験を得ることなど」と書かれています。要約する

と「ちしき 知識を広げること」、「しゅうだんせいかつ 集団生活のきまりを守れるようになること」、

「しゃかい 社会に生きる一人として守るべきルールを身につけること」となります。

がっこう 学校が位置している地理では得られない経験ができることが修学旅行や宿泊訓練の醍醐味です。確かに、たいけん 体験しないとわからないことってたくさんありますよね。

「知識を広げる」に関しては、ご存知のように近隣の小学校では重点的な活動に

「平和学習」をあげています。本校も同様です。このことから、修学旅行先を長崎にしています。

「しゅうだんせいかつ 集団生活のきまり」、「まも 守るべきルール」等に関しては、授業などでも子ども達は集団生活を行っていますが、日常とは違う場面での集団生活となると、修学旅行が初めてという子もいるでしょう。そのような場でもきちんときまりを守れるよう、修学旅行や宿泊訓練では班分けをして自主的な活動を促す場を設けています。

とはいえ、私たち教員にとっては児童の安全確保が第一。事故に注意して安全な思い出と学びの多い修学旅行・宿泊訓練にしていきたいと思ひます。

なつやす 夏休み さくひんてん 作品展 じっし を実施！

子ども達が夏休みに家庭で取り組んだ研究や工作、手芸などの作品を校舎内に展示しています。アイデアや学習の成果がたくさん見られます！一つ一つの作品に工夫や苦勞がみられ感心させられます！

作品鑑賞では、作品の前で足を止めて熱心に見入っている姿が見られました。

